

機構トピックス

リコージャパン株式会社宮崎支社と「GXの推進に関する連携協定」を締結！

当機構とリコージャパン株式会社宮崎支社は、令和6年4月22日、宮崎県が進める「2050年ゼロカーボン社会づくり」の実現に向けて、県内製造業におけるGX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みを促進することを目的に、連携協定を締結しました。

また、締結後初めての取り組みとして、6月24日、脱炭素社会に向けた取り組みの必要性・重要性の理解向上を目的に、「脱炭素社会の実現」セミナーをリコージャパン株式会社宮崎支社で開催しました。セミナーでは、「脱炭素社会の実現に向けたリコーグループの取り組みとご提案」と題し、リコージャパン株式会社 若林 崇様から、サプライチェーン全体で脱炭素を進める動きが近年広がっていることや、それに伴い、中小企業にも脱炭素の波が広がっていることなど脱炭素に取り組む意義について大変分かりやすくご説明いただきました。

エネルギー使用状況の分析による温室効果ガス排出量の把握や施設の調査など、GXに関して高度な専門的知識及び技術を有しているリコージャパン株式会社と、中小企業の支援等を通じて、本県産業の振興と活力のある地域社会の形成に寄与することを目的とする当機構で、GXに関する取り組みを積極的かつ持続的に協力しながら進めてまいります。



▲GXの推進に関する連携協定締結式（令和6年4月22日）
左からリコージャパン(株)宮崎支社長 岡田 哲也様、
（公財）宮崎県産業振興機構 理事長 丸山 裕太郎



▲「脱炭素社会の実現」セミナーの様子
（令和6年6月24日）

高校生等を対象とした半導体工場見学会が開催されました！

昨年12月に県の立地企業の認定を受け、操業に向けて着々と整備が進む、国富町のラピスセミコンダクタ(株)宮崎第二工場において、8月21日に工場見学会が開催されました。

この見学会は、半導体製造に関心を持ってもらうことなどを目的にしたもので、当機構もみやざき半導体関連産業人材育成等コンソーシアム（事務局：県企業振興課）の会員として開催に協力しました。

見学会では、宮崎大学工学部の淡野教授による講義を受講してパワー半導体（SiC）について理解を深めた後、同工場の概要や製造する製品等の説明・防塵服の試着、そして整備中ではありましたが工場内の見学が行われました。

当日は、高校生とその保護者、大学生、教員など55名が参加しましたが、見学後、半導体について理解することができた、工場の広さに圧倒された、完成後にも見学したいなどの意見が聞かれました。



▲宮崎大学副学長の淡野教授による半導体基礎講座の様子



▲防塵服の着用体験の様子

県内製造業の脱炭素への取り組みのロールモデルになる「脱炭素推進モデル企業」を初めて選定！

機構では、令和6年度から脱炭素の取り組みを促進する県内製造業者を「脱炭素推進モデル企業」として選定し、エネルギー使用に係る現状把握等から削減計画の策定、計画に基づく具体的な取り組みについて伴走支援を行うことで、ロールモデルの創出を目指しています。

今回、脱炭素推進モデル企業に株式会社サニー・シーリング、株式会社モリタの2社を初めて選定しました。今後、選定した2社に対しては、支援施策を重点的・集中的に活用し、計画の達成に向けて支援していきます。

脱炭素推進モデル企業一覧

（五十音順）

選定年度	企業名	業種	所在地
令和6年度	(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
	(株)モリタ	輸送用機械器具製造業	宮崎市

よろず支援拠点に相談して ドローンを武器に新たな事業をはじめました!

担当：川野圭介チーフコーディネーター

ROKUYON

〒881-0005 西都市大字三宅3457番地

電話：0983-42-3674



薬剤散布中のドローン

ご紹介するのは、前職の不動産関連業時代に習得したドローン技術を生かして、地元農家の農薬散布作業を請け負う起業について、よろず支援拠点に相談があった事例です。

相談者の長友健太さんは、家業を承継することを想定していたことから、新規企業とするのがよいのか、それとも家業の新事業として展開する方がよいのか判断に迷われ、アドバイスを求めてこられました。

担当コーディネーターは、家業の財務内容や経営環境の見通しについて丁寧に分析し、家業の経営がかなり安定しており、融資などの資金調達を考えた場合、家業の新事業として取り入れる方が得策であるとアドバイスしました。

その方針に沿って、早速開業したところ、地元農家の高齢化もあり、事業のニーズは極めて高く、家業の二つ目の柱として急成長する兆しを見せています。



新事業に必要な一等無人航空機操縦士資格を取得した長友健太さん

新規事業がよいのか、いずれ引き継ぐ家業の一部門とするのが良いのか、皆目見当が付きませんでした。よろず支援拠点相談したことで、その違いをはっきり理解することができ、納得して新たな事業に取り組むことができました。

県内ではまだ少ない「一等無人航空機操縦士」の資格も取得できたため、今後もよろず支援拠点の支援を受けながら、事業の発展を図っていくつもりです。

事業責任者 長友健太

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構

経営情報課

電話：0985-74-3850

環境イノベーション支援事業

おからを発酵技術を用いて新たな食品へ

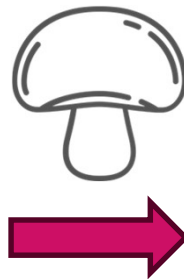
株式会社 オカラテクノロジーズ

〒880-0812 宮崎市高千穂通1-6-13
電話：050-1048-3130

2021年に創業したスタートアップ企業。おからを主原料とした食品の開発・製造・販売を行っている。



＜写真1＞原料となるおから



きのこ菌を接種



＜写真2＞試作したレトルト加工品
代替肉の原料等としての販売を見込んでいる

おからは豆腐を作るときに大豆から豆乳をしぼった後の残った部分ですが、栄養価が高いものの水分が多く腐りやすいという特性があります。このため、国内で産業廃棄物として排出される年間量70万トンのうち食用として利用されているのはわずか1%であり、飼料としての活用も限られ、ほとんどが産業廃棄物として処分されています。

このような社会的課題を解決するため、株式会社オカラテクノロジーズではおからを主原料にしたクッキーなどの食品を開発・製造・販売をしており、フードロスの削減に貢献しています。

今回、おからの更なる活用を目的に宮崎県食品開発センターと共同研究を行い、おからの保存方法を確立するとともに、きのこ菌を利用しておからを発酵させることで、発酵前のおからよりも栄養価や機能性を向上させた付加価値の高いレトルト加工品の試作に成功しました。

本事業で得た知見を基に更なる改良を行い、新たな製品の販売を目指しています。

[支援企業からのコメント]

「環境イノベーション支援事業」を活用して実施した研究開発を通じて、当社の基盤であるおからについて、より深く知ることができました。現在も改良を行っている最中ですが、得られた知見を活かして商品開発を進めることにより、フードロスの削減に更に貢献していきたいと考えています。

株式会社オカラテクノロジーズ
代表取締役 山内 康平

担当・お問い合わせ先

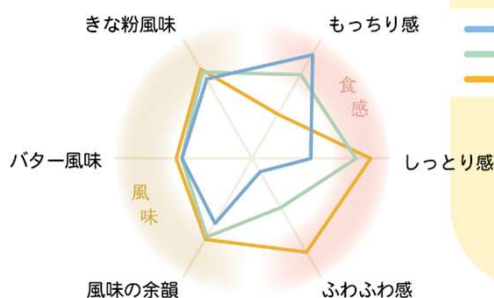
(公財) 宮崎県産業振興機構
新事業支援課
電話：0985-74-3850

ブラッシュアップ補助金により開発を支援した商品が FOOD AWARD 2024で高評価!

フードビジネス相談ステーションでは、ブラッシュアップ補助金により商品開発を支援しています。令和5年度補助金により支援し、FOOD AWARD 2024で審査員賞を受賞した商品のうち2件を紹介します。

官能評価試験で“きな粉感”を追求!! 3つの温度帯で楽しめるフィナンシェ

株式会社オンザマーク 〒886-0004 小林市細野443-4 電話：0984-23-7788



「TOKUBOフィナンシェだいず味」は、小麦粉の代わりに都城在来の「みやだいず®」の大豆粉を使った商品です。大豆以外にも、宮崎大学が開発に関わった血糖値が上昇しにくい砂糖、日向平岩海岸の満潮時の海水から作った塩、九州産生乳を100%使用したバターなど、宮崎ゆかりの素材にこだわっています。宮崎県食品開発センターで実施した官能評価試験で、常温、冷蔵、冷凍の温度帯ごとに異なる食感や味わいがあることを確認できました。また、香り、風味、後味の「きな粉感」が最大の特徴であることがわかり、きなこ感をさらに追求し、仕上げにきな粉をたっぷりとまぶした「TOKUBOフィナンシェだいず味きな粉まみれ」を新たに開発しました。（マネージャー 木場 好美）

ブラッシュアップ補助金と食品開発センターの官能評価活用モデル事業を紹介し、おいしさ評価に基づいた商品開発と販促ツール制作の取組を伴走支援しました。（担当コーディネーター：藤藪 志保）

『極トロレバー』で新鮮な国産鶏肝の魅力を全世界へ

ティケイ・エビス株式会社 〒885-0043 都城市豊満町996-6 電話：0985-51-5201



「新鮮なレバー本来のおいしさと、宮崎の食文化を全国の方に安心して楽しんでもらいたい!」という想いで開発した『極トロレバー』は、生レバーの美味しさを超えてしまいました。同じ敷地内にあるグループ工場から仕入れた新鮮な朝引きレバーを使用しているため、レバー独特の臭みや加熱した際の【ぼそぼそ】した食感が全くなく、とてもなめらかな口当たりです。添付の特製ダレは、都城産の醤油と南九州産の生姜をたっぷりと使用し、レバー本来の旨味・風味を最大限に引き出してくれます。都城から全国のレバーファン、そしてまだ本当のレバーの美味しさに出会ったことのない方々に、この想像を超えた美味しさをお届けできれば幸いです。（課長 森 弥生）



『新鮮な朝引きレバー』使用が当商品の強み。商品化にあたり、衛生管理(HACCP)から事業計画作成及び補助金申請、デザイナーズバンク利用によるパッケージデザイン作成など様々な相談に対応・支援しました。（担当コーディネーター：諏訪園 哲哉）

お問い合わせ先

みやざきフードビジネス相談ステーション 電話：0985-89-4452

ものづくりワールド〔東京〕出展で自社技術をPR!

ヒラサワプレジジョン 株式会社

〒889-1602 宮崎市清武町今泉甲3897-16
電話：0985-55-6115



6月19日から21日の3日間、東京ビッグサイトで開催された機械要素技術展〔東京〕に宮崎県ブースを出展しました。

来場者 3日間合計69,717人と賑わう会場で、共同出展した県内企業5社は、新たな販路開拓や取引の受注機会を拡大するため、積極的に自社製品や技術のPRを行いました。

このうち、宮崎市のヒラサワプレジジョン株式会社のブースでは、半導体製造関連金型部品などを展示し、来場者の関心を集めていました。

〔出展企業5社〕

- ①株井崎製作所（新富町）
- ②株システム技研（都城市）
- ③株中園工業所（延岡市）
- ④ヒラサワプレジジョン株（宮崎市）
- ⑤ミクロエース株（宮崎市）



宮崎の微細加工技術を全国へ発信！

東京の集客力は大きい。

以前よりも海外企業の出展が非常に多く、グローバル競争が激しくなっていることを実感しました。

来場面談した企業から非常に興味を持っていただき、具体的な商談に進むと思われます。

営業部マネージャー 大西 敏宏

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構 産業振興課
電話：0985-74-3850

日本のものづくりを支える唯一無二の専門技術者集団 社員研修を通じて、社員一体となって自社の成長を目指す！

有限会社産機サービス

〒889-1602 宮崎市清武町今泉乙365番地2
電話：0985-85-1119



▲蒸気ヘッダー製作



▲コンプレッサー整備

有限会社産機サービスは、平成3年3月に創業し、工場設備の販売から設置、施工、アフターメンテナンスまで一貫して対応できる専門技術者集団として、顧客ニーズに対応した提案型営業を展開しています。同社は令和4年度に宮崎県次世代リーディング企業に認定され、機構では組織力強化などの課題解決に向けた伴走支援を行っています。

今回、下松中小企業診断士事務所代表の下松孝裕氏を専門家派遣し、「社員としての役割を理解し、やりがいと誇りをもって日常業務と向き合う」ことをテーマとした社員研修を実施しました。研修では、まず、個人戦略シナリオ・マップの作成により自己分析を行いました。その後、実現したい理想の姿と自社の抱える課題についてグループワークを行い、各自の役割やそのために行うべきことを検討しました。グループワークでは、活発な議論がなされ、率直な意見交換ができました。社員一体となって自社の成長を目指す同社を、引き続き伴走支援していきます。



▲研修風景



▲グループワーク

今回の社員研修は、講義を受けるだけでなく、社員自身が考え、意見交換を行う参加型の研修で普段と違った社員同士のコミュニケーションがはかれ、各自のスキルアップ手段、方向性が明確になりました。社員からはまた開催してほしいとの要望が多数ありました。

常務取締役・関 潤一郎

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
企業成長促進室
電話：0985-77-5563

“ヘルスケア産業づくり” 貢献大賞を 安井(株)が受賞しました！

安井株式会社（本社：門川町大字加草2725番地）は、昭和5年に印刷業として創業。昭和52年に射出成形事業を開始。平成24年には医療機器製造業許可を取得して医療分野に進出し、医療機器用部品製造に積極的に取り組んできました。人工腎臓透析用容器ほかの血液・薬液接触品、透明品、筒状、極細径、肉厚形状など難しい素材・形状のプラスチック成型品の製造を得意としています。

令和2年度から4年度まで経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）（※）を活用して取り組んできた新たな医療機器の開発・製品化が評価され、今般、九州ヘルスケア産業推進協議会第11回“ヘルスケア産業づくり” 貢献大賞の最高賞である大賞に輝きましたので、ご紹介します。

〈“ヘルスケア産業づくり” 貢献大賞〉

「『健康寿命』が延伸する社会の構築」の実現のため、産学官金の関係機関で組織する九州ヘルスケア産業推進協議会（HAMIQ）が、ヘルスケア産業に関する九州地域の先導的な取組・活動の中から、需要づくり及び供給力の向上に貢献したモデル性の高い取組を広く表彰する制度。大賞、九州経済産業局長賞、九州経済連合会会長賞、特別賞が設けられている。

（※） 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）；現 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）

中小企業等が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、事業化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組を最大3年間支援する、中小企業庁所管の事業。安井(株)の取組には当機構が事業管理機関を務めるなど支援した。

人体に安全な材料を用い、骨に描ける医療機器認証マーカー

「ビボマーク®」の開発と製品化 ～受賞となった取組の概要～

従来、外科手術時の体内へのマーキングは医療機器ではない竹串に染料インクをつけて実施していましたが、インク成分（メチルロザニリン塩化物）に近年発がん性が認められた、にじみやすい等の問題がありました。

このため、安井(株)では、サポイン事業を活用して、国立国際医療研究センター及びインク製造メーカーとともに、インクに発がん性のある成分を使用せず安全性を確保し、にじみが少なく1mm幅の線が描け、更にはアルコール過敏症の方も安心して使用できる医療機器の手術用マーカー「ビボマーク®」を開発しました。

令和5年10月に管理医療機器（クラスⅡ）として薬事認証を取得したことから、同年12月に国内での販売を開始しており、今後は、海外への販路を拡大していく予定としています。

▶手術用マーカー「ビボマーク®」



みやざきLFP交流会を開催します！

みやざきLFPは、参画しているパートナーが、農林水産資源を活用しながら、地域の社会課題解決と経済性の両立を目指して活動しています。

事務局では、LFPパートナー同士の親交を深めるため交流会を企画しました。過去にLFP強化事業に採択されたプロジェクトリーダーから、事業に関するアドバイスが受けられます。今年度採択プロジェクトの中間報告会も行います。LFPに興味・関心のある方は是非ご来場ください。

【日時】令和6年11月13日(水) 13時30分～16時30分

【会場】ニューウェルシティ宮崎

【内容】

○交流会：過去のLFP強化事業に採択されたプロジェクトリーダーと参加者とのフリートーク

○中間報告会：令和6年度のLFP強化事業に採択されたプロジェクトの発表等

【申込方法】

宮崎県産業振興機構のホームページにて告知いたします。もうしばらくお待ちください。



令和5年度の中間報告会の様子



みやざきLFP
ホームページ



みやざきLFP
紹介動画

各地域に出向いて、フードビジネスとデジタル化の相談に対応します！

今年度、初めての取り組みとして「みやざきフードビジネス相談ステーション・産業DXサポートセンターみやざき合同相談会」を開催しています。

6月から始めて、これまでに高千穂町商工会をはじめ3か所で開催しました。

今後の予定は右表のとおりです。フードビジネス、デジタル化でお悩みの方は、是非、ご利用ください。

相談は、無料で完全予約制です。

期 日	会 場
10月24日(木)	都城商工会議所
11月28日(木)	南郷町商工会

※時刻は、いずれも10:00～16:00です。

申 込 先

※申込期限は、各開催期日の1週間前。申し込みが定数に達した場合は、期限前に締め切る場合があります。

みやざきフードビジネス相談ステーション

フードビジネス及びデジタル化の申込を受け付けます。

電話によりお申し込みください。

電話 0985-89-4452

受付時間 8:30～17:15

※12:00～13:00及び土日祝を除く。

産業DXサポートセンターみやざき

デジタル化の申込のみ受け付けます。

電話または特設サイトよりお申し込みください。

①電話 050-5369-7583

受付時間 9:00～17:00

※12:00～13:00

及び土日祝を除く。

②特設サイト

<https://www.dx-miyazaki.com/>



フードビジネス相談の様子（高千穂町商工会）



フードビジネス相談の様子（門川町商工会）

ネットショップに取り組む食品関係事業者のための EC販路開拓 スキルアップセミナー

ネットショップで自社製品が売れるためには、その商品の持つ「特長・強み・魅力、差別性・優位性」が、お客様にきちんとお伝わることが重要です。

ネットショップに取り組んでいる事業者さんが、自社商品の「特長等」を抽出する方法をワークショップ方式で学び、お客様やバイヤーの目に留まる商品提案書を作成する「EC販路開拓スキルアップセミナー」を開催します。

セミナーの流れ(セミナーは1月中旬の「求評会」までを内容とします)

10月28日、11月25日開催

セミナー

※対面による少人数セミナー



専門家によるワークショップで商品提案書の作成方法を学び、自社商品の提案書の作成を行います。

個別相談会

※オンラインで実施します



商品提案書を完成させるため1社60分程度の個別相談会を実施します。また、疑問等については随時受付回答します。

1月中旬開催

求評会

※オンラインで出席します

商品提案書
商品サンプル



作成した商品提案書とサンプル商品を、東京で開催する求評会に送付し、在京のバイヤーが審査の上、オンラインでアドバイスをを行います。

開催日（2日間コースですので両日とも参加する必要があります）

令和6年10月28日（月）13：00～16：40

11月25日（月）13：00～16：40

会場 KITENビル コンベンションホール

（宮崎市錦町1-10 KITENビル8階）

10月28日：小会議室3 11月25日：小会議室2

定員 10社

申込方法 参加ご希望の方は、機構ホームページに掲載の申込用紙に企業名、受講者名、メールアドレスなど必要事項を記入して、メール又はFAXでお申込み下さい。

講師



黒石英男氏
（株）47CLUB
コンサルタント

地方新聞社に入社後、東京支社長等を経て、（株）47CLUB立ち上げに参画。その後同社にて一貫して「地域事業者の販路拡大」に関するコンサルティングを行う。その間約5000社に上る地域事業者の販路拡大に携わる。実際のネットショップ店長も経験し、1億円超えショップの創出を行った。

申込締切 令和6年10月18日(金)

お問合せ先

みやざきフードビジネス相談ステーション

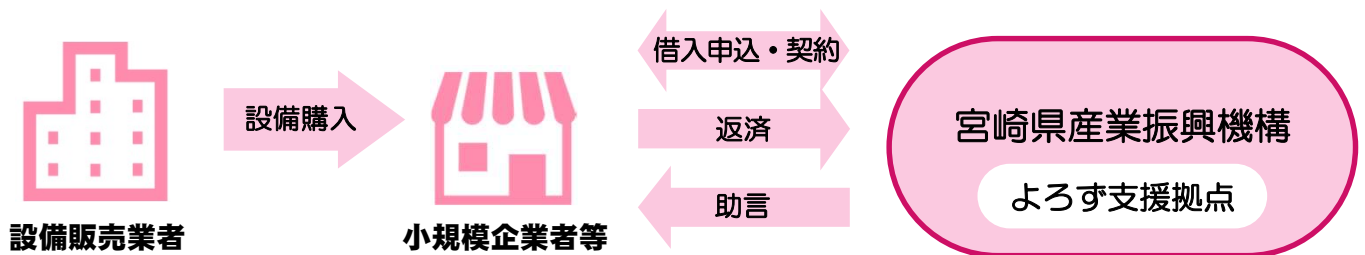
電話：0985-89-4452 担当：藤崎

E-mail：food@mepo.or.jp

設備導入に関する融資制度「みやざき設備資金貸付事業」

小規模企業者等の皆様が、経営基盤の強化を図るため、必要な設備を購入される場合、その設備導入資金の一部(1/2以内)について無利子で融資を行っています。(貸付審査会による審査があります。)

なお、貸付申請者には、御希望に応じてよろず支援拠点のコーディネーターが随時助言を行いながら、経営基盤の強化を支援します。



申請対象	県内の小規模企業者等（常用従業員数50名以下）
対象経費	経営基盤強化のために必要な設備（土地・建物は対象外）
償還期間	3年以上7年以内（元金据置は最長6ヶ月、口座振替で毎月決済していただきます。）
貸付額	50万円～2,500万円 「フードビジネス」「メディカル」「自動車」「成長期待企業等」で、一定の条件を満たした場合、上限が3,000万円となります。

お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850



企業の人材育成に関する支援

企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業者



助成対象

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員の皆様が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合、必要な経費の一部を助成しています。

また、都市部に行くことなく、高度な人材育成プログラムを受けることができる「ひなたMBA」及び中小企業大学校人吉校の研修活用を推奨し、優遇枠を新設します。

※ 限られた予算の中、より多くの企業に利用していただくため、助成上限額等を見直しました。

1 研修等参加事業

企業の従業員等の経営管理能力や技術力の向上を図るため、公的機関やセミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、県内旅費	
助成率	1／2以内	※賛助会員、次世代リーディング企業（2/3以内）
助成上限額	10万円	※ひなたMBA等（15万円） （賛助会員、次世代リーディング企業のみ）

※ひなたMBA等：ひなたMBA等及び中小企業大学校人吉校の研修

2 ものづくり企業技能等向上研修事業

ものづくり企業の従業員等の技能等の向上を図るため、公的機関や研究機関、大学、セミナー・研修等を業とする民間企業等が実施する専門的な研修等へ参加する場合

助成対象経費	受講料、参加費、負担金、県内旅費	
助成率	1／2以内	※賛助会員、次世代リーディング企業（2/3以内）
助成上限額	10万円	※ひなたMBA等（15万円） （賛助会員、次世代リーディング企業のみ）

※ひなたMBA等：ひなたMBA等及び中小企業大学校人吉校の研修

3 社内研修・企業間等の連携研修開催事業

生産技術や管理技術等の向上を図るため、専門家を招聘して、社内研修を開催したり、県内企業間もしくは企業と関係機関との連携による研修等を開催する場合

助成対象経費	講師謝金、講師県内旅費、会場借上料	
助成率	1／2以内	※賛助会員、次世代リーディング企業（2/3以内）
助成上限額	20万円	



お問い合わせ先

(公財) 宮崎県産業振興機構
産業振興課
電話：0985-74-3850

宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30~17:00（平日）

☎ 0985-74-0786

創業や起業する際の
資金調達について知りたい

電子決済や
ウェブサイトを活用した
販売戦略について
知りたい

取引先との契約書の
内容や事業に関する
法律について相談したい

確定申告や年末調整、
節税の相談をしたい

営業パンフレットを
刷新して企業イメージを
印象づけたい

親族ではない人に
事業を引き継ぎたい



よろず支援拠点ホームページでは、セミナーの開催お知らせやFacebookでの情報発信を行っています。
ホームページから相談予約もできます。
ぜひご覧ください。



中小企業庁
宮崎県よろず支援拠点



成果が出るまで
徹底的にサポートします!



お気軽に
ご相談下さい!

事前
予約制

相談
無料



中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さん！ 取引上の悩みを抱えていませんか



- 支払期日を過ぎてても代金を支払ってもらえない
- 追加の工事・加工をしたのにその分の代金を支払ってもらえない
- 労務費や原材料費が上昇しているのに単価の引き上げに応じてもらえない
- 一方的に単価の引き下げを求められている
- 書面での発注をお願いしているが応じてもらえないetc

下請かけこみ寺 に相談してみてもいいかもしれません。
相手方との交渉や代金回収の方法などについて知ること、
悩みやトラブルが解決できる場合があります。

「下請かけこみ寺」は、下請取引の適正化の推進を目的に、国（経済産業省）が全国48か所に設置した相談窓口で、本県は宮崎県産業振興機構に設置されています。

あなたの相談には専任の相談員が応じます。相談の内容によっては無料弁護士相談等をご案内します。

悩む前に一度相談してみませんか。



相談のながれ

- 1) 相談専用フリーダイヤルやメールでお問い合わせください。専任の相談員が電話や面談でお話をお聴きし、取引上の問題点・課題等を整理して、必要な助言等を行います。
【相談対応可能日】 月、火、木、金の午前9時から午後5時まで
(ただし祝日等は除きます)
- 2) 法律関係の整理が必要な場合や法手続きについて検討した方がよい場合には、相談者の希望により無料弁護士相談をご案内します
(ただし匿名での相談は受けられません)
- 3) さらに調停による解決を希望される場合には、下請かけこみ寺本部（（公財）全国中小企業振興機関協会内）が実施するADR（裁判外紛争解決手続き）をご案内します。



相談専用フリーダイヤル
相談専用メールアドレス
所在地

0120-418-618
soudanmoushikomi@zenkyo.or.jp
宮崎市佐土原町東上那珂16500-2
（公財）宮崎県産業振興機構
☎ 0985-74-3850

公益財団法人
宮崎県産業振興機構
みやざき
フードビジネス
相談ステーション

相談無料
事前予約制

オンライン
OK!

食

に関するお悩み まるごと 解決



相談体制



事業計画
資金調達



商品開発
衛生管理



食品表示
デザイン



マッチング
販路開拓

専属コーディネーター

+

各種 専門家

+

支援機関

と

連携を図りながら課題解決に向けてサポートします

6次産業化に取り組む生産者の皆さま



農山漁村発
イノベーション
サポート事業

多種多様な専門業種との連携を求める事業者の皆さま



みやざきローカルフード
プロジェクト強化事業

各種 専門家

● アドバイザー ● プランナー

関係支援機関

● 試験研究機関 ● 大学

デザイナーズバンク

● 県内の登録デザイナー

相談の流れ

1

※要予約

電話で予約

相談内容を簡単にお知らせください。初回の相談日を調整します。

2

面談又はオンライン

担当コーディネーターが、現状から目標達成のための課題を導き出し、具体的なアドバイスをを行います。

3

伴走支援

担当コーディネーターと共に、課題解決に向けた取り組みを行っていきます。

ワンストップの相談窓口としてご活用ください

お問い合わせ

みやざきフードビジネス
相談ステーション

TEL

0985-89-4452

月曜日～金曜日 (8:30-17:15 / 12:00-13:00) 及び祝日は除く



みやざきフードビジネス相談ステーション



充実のサポート内容

商品化への流れに応じて必要なアドバイスを行います

まずは、
お電話ください
相談無料
事前予約
オンラインも
OK!

必要な
アドバイス

基本的な商品化への流れ			
①リサーチ	②企画・立案	③商品化	④生産・販売
調査方法	アイデア出し/商品開発 事業計画/資金調達	加工技術/衛生管理 食品表示/デザイン	マッチング/販路開拓
マーケットインの視点 による商品化へ向けた 基本的な考え方や、調 査方法、具体的な取り 組み方について助言。	販売戦略を踏まえた新 商品開発や、新規事業 に取り組むための事業 計画の確認。資金調達 先として国や県等の補 助事業の紹介。	食品加工に取り組むた めの、一連の流れや衛生 管理、食品表示、商品化 へ向けたデザインの考 え方。県内の委託可能な 食品製造業者の紹介。	商品内容、生産量等の確 認。商談会・求評会の紹 介と商談に必要な書類 や交渉の進め方につ いて助言。

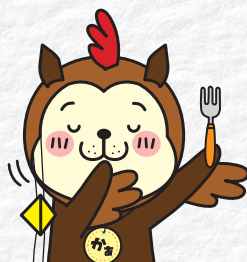
..... 相談会の開催や必要に応じた専門家の派遣も行っています

食品表示 相談会	企業訪問	専門家の派遣	デザイナーズバンク
毎月第三木曜日に食品 表示無料相談会を開催し ています。(要予約) 既存商品の表示見直し や、新商品の表示など、 ご相談ください。	担当コーディネーターが 現場を確認しながら相談 対応することも可能です。 (対象:宮崎県内全域)	各種相談内容に応じ、コ ーディネーターと共に専 門アドバイザーを派遣し ます。	宮崎県内のデザイン・印刷 会社及び個人デザイナー の登録バンクがあります。 希望される方への情報提 供も行っています。

当ステーションのHP、Facebook、メールマガジン（産業振興機構）

支援事例やセミナー、補助金公募案内などの情報を発信

ホーム
ページ



フードビジネス相談ステーション 検索

フェイス
ブック



公益財団法人 宮崎県産業振興機構

みやざきフードビジネス相談ステーション

TEL 0985-89-4452 FAX 0985-89-4468

相談対応時間 月曜日～金曜日(9:00-17:00/12:00-13:00及び祝日は除く)

✉ food@mepo.or.jp

〒880-0811 宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンスフィア番館(KITENビル)3F
(お越しの際は、最寄りの有料駐車場または公共交通機関をご利用ください)

農山漁村発イノベーションサポートセンター
みやざきLFP事務局

